

わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の  
人こそ知らね かわくまもなし  
世の中は つねにもがもな 痒こぐ  
あまの小舟の 綱手かなしも  
み吉野の 山の秋風 さ夜ふけて  
ふるさと寒く 衣うつなり